

令和7年度 日本大学文理学部資料館展示会

# 満洲・モンゴル・華北の点描

—日本大学文理学部所蔵未公開記録を中心に—



左：奉天省公署  
「國運飛騰：大同二年三月一日慶祝建國周年紀念」  
(ポスター、1933年、文理図書館蔵)  
右：「南滿洲鐵道株式會社」  
(カレンダー台紙、1924年用、文理図書館蔵)



2025

10/27 (月)

11/29 (土)

開館時間：平日 10:00～17:00 土曜日は 13:00 まで

特別開館日：桜麗祭期間 11/1 (土), 11/2 (日)

休館日：日曜日, 10/31 (金), 11/3 (月)

入館料：無料

主催：日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

協力：日本大学文理学部史学科

# 満洲・モンゴル・華北の点描 — 日本大学文理学部所蔵未公開記録を中心に —

日本大学文理学部(以下、日大文理)では、「平成15~19年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業:デジタルアーカイブ・インフラストラクチャの構築と高度利用」(研究代表:戸田誠之助)の実施を契機に、戦前・戦中期の日本と東アジア地域、とりわけ、モンゴルと中国東北・内モンゴル・華北地域との関係実態の解明を目指す研究が積み重ねられています。同時に、研究に必要となる様々な関連記録の収集も積極的に進められ、学外の方からご寄贈いただいたものと、日大文理で購入したものからなる、三千点を超える記録が、日大文理資料館と日本大学図書館文理学部分館(以下、文理図書館)に収蔵されています。これらの記録の一部は日大文理資料館展示会などで既に公開されていますが、まだ修復・保存と整理の作業が終わっていない記録も多数あり、現在も公開に向けての作業が鋭意進められています。

今回の展示会では、整理が終わった記録の中から、これまでの展示会で公開されていなかった、日本人が作成した満洲、モンゴル、華北に関する記録を中心に紹介してまいります。個々の記録は、様々な日本人が時々における各地の様子をいわば点描したものとなっていますが、今回その点と点を一堂に展示することで、戦前・戦中期における日本と東北アジア地域の関係実態について考えるきっかけになればと願っています。



「娘々祭名物生人形・大石橋」  
(絵葉書、満洲国期、文理図書館蔵)



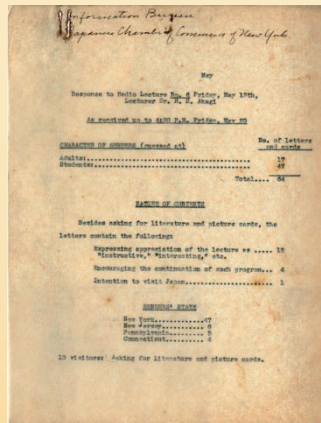
「ノモンハン事件日本軍臨時通訳シテ参加セル學生十九名(一名戦死)」(写真、1939年、「国立興安学院関係記録」、文理図書館蔵)



第一公司「張作霖氏坐乗列車爆破現状絵葉書」  
(1928年以降、文理図書館蔵)



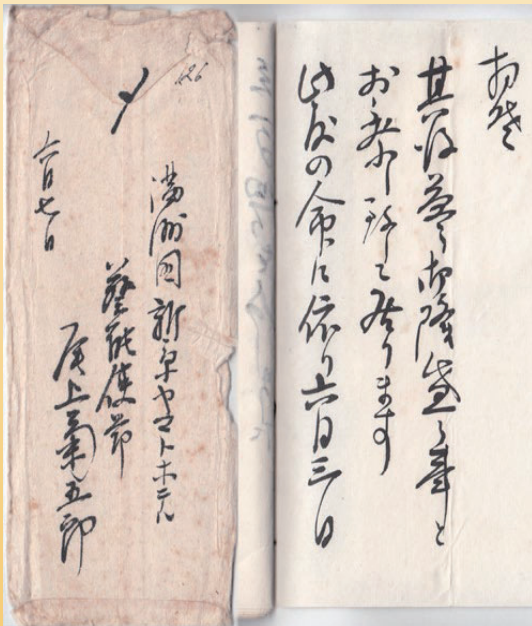
「陸軍貴冑學堂同學録」  
(宣統年間刊、文理図書館蔵)



“Responseto Radio Lecture No.6”,  
Friday, May 13th, Lecture Dr.R.H. Akagi  
(1932年、「赤木英道旧蔵記録」、日大文理資料館蔵)



「執照」  
(1928年、「大部二郎旧蔵記録」、日大文理資料館蔵)



「六代目尾上菊五郎書簡」(1942年、文理図書館蔵)



陣内松齡『萬寶山餘波平壤暴動絵巻(部分)』(1931年、文理図書館蔵)

会場：日本大学文理学部資料館展示室（図書館棟1階）  
所在地：東京都世田谷区桜上水3-25-40  
連絡先：03-5317-8590（資料館事務室直通）  
交通案内：京王線 桜上水駅より徒歩8分  
京王線・東急世田谷線 下高井戸駅より徒歩8分



公式ホームページ